

魚沼民主商工だより

2016年
10月 31日

第2028号

発行 新潟県魚沼市板木
電話 025(792)3064
e-mail:uminsyo@rose.ocn.ne.jp

今年は参院選から、知事選、そして市長選へ

今年は選挙の多い年となっています。7月の参院選は「安倍独裁政治と戦争国家への逆流を許すのか。それとも立憲主義・民主主義・平和主義を貫く新しい政治を築くのか」が大争点となり、僅差で市民とオール野党統一候補の森ゆうじさんが勝利しました。

そしてこの流れが10月の知事選にも引き継がれ、「フクシマの原発事故の検証なくして、再稼働の議論はあり得ない」と、柏崎刈羽原発の再稼働がもつと大きな争点となり、圧倒的な票差で市民と野党統一候補の米山隆一さんが勝利し、地元魚沼から知事が誕生しました。「この選挙とも、私たち民商は自営業者の願いを届ける候補、要求を実現する候補として、森さんと米山さん勝利に一翼を担つきました。



さて、今国会ではTPPの内容をひた隠し続けながら、強引な国連議が行われ、政府・与党はTPP批准の強行採決を狙おうとしています。TPPは農業、食の安全、雇用、中小企業者や地域経済の振興、医療など多くの分野に影響を与えます。10月24日付けの新潟日報で、「こんなにち話・進む『強欲』の先想像を」（国際ジャーナリストの堤末果さん）が強烈な内容でTPPの問題を告発しています。国の政治から、市民の命と財産を守るのは自治体であり、選挙で選ばれたリーダーたち

です。

これから南魚沼市長選（兼市議補選）11月13日告示、20日投開票。魚沼市長選11月27日告示、12月4日投開票。と2市で選挙があります。

皆さん、「国、県に太いパイプを」と強調し、永田町を向いていふ候補ではなく、市民による声、市民の声を聴く、私たちの願いを届ける、そして要求を実現してくれる候補を選びましょう。

このことは参院選、知事選の2つの選挙で証明しています。

鳥取県中部地震、 民商会員の被害状況は！



10月21日午後2時7分ころ、鳥取県中部を震源とする地震があり、倉吉市と湯梨町などで震度6弱の揺れを観測し、いまもなお余震が続き、被害が広がっており、懸命の救援活動が続いている。被災された皆さんに心からお見舞い申し上げます。

この間、役員・会員から「鳥取の地震は、どんな状況なんだ」の問い合わせがありましたので、若干ですが報告いたします。この被災情報は10月24日時点で、だいぶ時間が経過しています。被災地の鳥取県中部地区の民商会员の被害状況は幸いにもケガ人はいませんでした。家屋被害は9軒あり、建物の瓦や壁などの損害が多いようですが、いま罹災証明書の取り方などを説明する集まりを計画し、同時に自治体への要望のとりまとめを進めています。

詳細は是非、全国商工新聞を1

商売を語る交流会が もうすぐ開催されます！

11月6日、ペンシヨンブルフ（六日町山口）にて、商売を語る交流会がもうすぐ開催されます。今回の企画は、「参加してよかつた」と言われるものにして、上越民商の岩沢健さん（建設業・飲食店）を迎えて、仲間どうしで商売人の努力や工夫を学び合いながら楽しく交流することを主体にしました。そして初めてのパネルディスカッション（全体会形式）で、数人のパネリストから商売を語り、お互いが意見を交わしながら、自分の経営と暮らしを見つめ直す絶好の機会となります。

大勢の方からのご参加をお待ちしています。



ウラ面もご覧ください！

法律相談のお知らせ
日 時 11月 9日(水) 午後1時より
会 場 民商事務所
弁護士 大澤 理尋 先生
(新潟中央法律事務所)
相談料 3,000円
※予約制ですので早めに事務所までご連絡下さい。